

# 平成27年度 南魚沼郡市 特別活動部 活動報告

部長 蕨神小学校 中俣裕夫

## 1 研究主題

よりよい人間関係を築く活動の工夫

## 2 研究推進の概要

### (1) 特別活動部会

- ① 実施期日・会場 5月 1日（金） 南魚沼市立六日町中学校
- ② 内容
  - 研究主題、活動計画、研究組織の決定

### (2) 実践研修会

- ① 実施期日・会場 8月21日（金） 南魚沼市立蕨神小学校
- ② 内容

- 講義「Q-Uの理解と活用について」

講師 新潟県立教育センター 吉原 寛 指導主事 様

ア Q-Uの概論と意味

- ・ P (Performance) M (Maintenance) 理論について
- ・ アセスメントの手段であって、目的ではないこと

イ 効果的に活用するための視点

- ・ 学級の問題点、孤立している子、理解できない子、グループの実態、担任がどう見ているか等の視点で考えること
- ・ うまくいっている学校から学ぶ

全学級での取組、スタンダードな方法、仮説を有しており教師間で それが共有されていること

ウ 学級集団のタイプ別アドバイスのポイント

- ・ 管理型、なれあい型、荒れ始め型への対応のポイント
- ・ ルールやリレーションづくりを進め、困り感を聴く教師に

## 3 成果と課題

南魚沼市では公費で年2回Q-Uを行っている。その結果を基に、児童一人一人への対応や学級づくり等に活用して、効果をあげてきている。特別活動部としても、改めてその理論を学び、よりその活用を図るべく、今年度はQ-Uについての研修を実施した。

参加した部員は、若手から経験豊富なベテランなど様々である。Q-Uの理論を改めて確認するとともに、自校や自学級の取組を点検することができた。そして、効果的な活用にあたっての視点や、うまくいっている学校のポイントなどを整理することができた。学級担任は、自分の学級経営が「管理型」や「なれあい型」になっていないか確認する機会となった。また、管理職は、Q-Uの結果を職員指導にどのように活用するか等の視点で研修することができた。

最後に、望ましい学級集団ためのルールとリレーション(教師と子ども、子ども同士のふれあいのある関係)、聴くことの大切さを確認するものとなった。

